教育のぼりべつ

令和7年
12月1日
No.48

発行；登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

「あっさり～、しんじみ。」
江戸の物売りに扮して堂々と演じる


あま～い あまざけ

９月１２日（金）、総合体育館において、市内全小学校の６年生が一般社団法人劇団前進座の公演【『くず～い屑屋でござい』ー古典落語「井戸の茶碗」より】を鑑賞しました。

最初に江戸の長屋の様子や物売りの説明があり、事前のワークショップで指導を受けた幌別小学校の児童代表３名が物売りに扮して舞台上で「貝類売り」「甘酒売り」「金魚売り」の役を堂々とユニークに披露しました。参加した児童たちは芝居を通じて江戸時代の暮らし等を楽しく学びました。


「貝類売り　あっさり～しんじみ」


「金魚売り　きんぎょ～や　金魚」

登別市立鷲別中学校　公開研究会

１０月２８日（火）、鷲別中学校で公開研究会が開催され、１年生体育科「球技　ネット型　バレーボール」、２年生国語「扇の的～平家物語」、３年生理科「地球と宇宙第１章地球の運動と天体の動き」の授業が公開されました。研究テーマを『「学び合い」を通して、受け入れ合い、支え合い、高め合う生徒の育成～協働的な学びの場面設定を通して～』と設定し、理科の授業では、「地球の運動と天体の動き」について、観測記録から四季における太陽と地球の位置関係を、また、夏の時・冬の時の地球の位置はどこかを考えながら理解を深めました。


体育


国語


理科

令和７年度登別市「鬼っ子フォーラム」



１１月１８日（火）、登別市民会館で、市内小中学校、中等教育学校、高等学校の児童会・生徒会代表が集まり、いのちの重さや人としての生き方、人との関わりについて考えを深める機会として、令和７年度登別市「鬼っ子フォーラム」が開催されました。

当日は、「鬼っ子宣言 2025」と「ピンクシャツデーキックオフ宣言」を発表し、各学校に協力を求めたほか、室蘭工業大学大学院、清末愛砂教授による｛いじめの構造を考えてみよう！～海外の紛争から～｝をテーマとした基調講演の後、「いじめについて考える意見交換会」では、｛これっていじめ？いじめが起こりやすいときってどんなとき？｝をテーマに活発な意見交換が行われました。その後、「トークセッション～いじめ撲滅チャレンジ！～」では｛いじめを無くすために自分たちができること！｝として、個人や学校、市全体でできることについて話し合い、鬼っ子宣言の実現に向けて、各学校で充実した取り組みを進めることを誓い、閉会しました。参加した一人ひとりが堂々と自分の意見や思いを発表し充実したフォーラムとなりました。

『鬼っ子宣言 2025』

おにっこ

お	お互いに意見を尊重し
に	ニコニコであふれる学校を目指し
っ	辛い思いをしないよう
こ	個性を認め合う

今年度の鬼っ子宣言



意見交換会の様子



参加児童生徒

不安だったけど楽しかった「乗馬体験会」

１０月４日（土）、幌別中学校区の地域学校協働事業として「乗馬体験会」がのぼりべつ酪農館のグラウンドで行われました。参加した子どもたちは緊張して少し不安そうに馬に乗っていましたが、慣れてくると笑顔になり、乗馬後に人参をあげるなど、楽しい一日となりました。





学校祭　「伝承」 伝統を様々な形で次の世代へ！

市内中学校学校祭は、今年度も全校で無事に実施されました。

幌別中学校では、９月１９日(金)「伝承 ～ 歴史も、楽しみも、思い出も、全部深く～」をテーマとして開催しました。生徒で作り上げた自然豊かな一枚のモザイク絵のテーマバックがステージ正面に飾られ、学年合唱発表をメインに、吹奏楽部の発表、学校演劇などが行われました。学年合唱発表では、本番当日まで取り組んだ成果を発揮するため、誰もが真剣な表情で精一杯歌い上げ、会場から多くの拍手が送られました。また、学校祭で作成した「行灯」は市内各所で展示され、登別観光交流センター「ヌプル」では３年生の作品、私たちのふるさと【登別市役所】と【登別地獄谷】が展示されました。



３年生最後の合唱発表



ヌプルに展示された作品

一人一人輝く「学習発表会」（鷲別小学校）

１１月８日(土)、鷲別小学校で学習発表会が実施されました。

子供たちは、歌や器楽合奏、劇などに協力して全力で取り組み、各学年ともに、これまでの練習の成果を存分に発揮して、素晴らしい発表を披露していました。



1年「言葉を楽しもう！音楽、大すき」



３年　「校外国学習！」



５年「５年生の一日」



２年 劇「スイミー」



４年「カムイの教え、未来のヒント」



６年朗読劇「貝の火」

登別市デンマーク友好都市
中学生派遣交流事業

１９９２年（平成４年）にスタートした登別市と友好都市協定を締結しているデンマークのファボーミッドフュン市との交流事業。今年度は８月７日（木）から１５日（金）までの９日間にわたり、市内の中学生と明日中等教育学校の生徒９名が、交流事業に参加しました。１０月２日（木）に帰国報告会が行われ、デンマークの食生活や生活様式など、自分のテーマに沿ってまとめた報告を行いました。

生徒たちは、「アンデルセン博物館」や登別マリンパークニクスのお城のモデルとなった「イーエスコー城」、「レゴランド」の見学や学校・施設の訪問など、多くの貴重な体験をすることができ、発表の中で「デンマークの食事は美味しかった。初めての海外でいろいろな文化に触れられたよい機会であった。もう少し長くデンマークに居たかった。この経験を将来に役立てたい。またデンマークに行きたい。」と話していました。今年度までにデンマークに派遣された生徒は２０８名、引率者７８名の合計２８６名となりました。来年も実施予定ですので興味を持った児童生徒の皆さんは、参加してみてはいかがでしょうか。


チボリ公園


イーエスコー城



ホストファミリーとレゴランド


ニューハウン


コペンハーゲン


パーティーでうどんを振る舞う


ファストフード店